

目次

説明45分
審議60分

タイトル	頁	特記事項	時間配分
1. 各施設におけるリスクとパフォーマンスについて	別途	審議 1	30分
2. 将来経費について	2	—	—
2 - 1. 将来経費試算の条件	2	審議 2	30分
2 - 2. 将来経費試算結果	13	説明	10分
3. 計画改訂（素案）について	—	—	—
3 - 1. 計画の全体図...A4版1枚	別紙 資料 1	説明	5分
3 - 2. 計画概要版（審議事項抜粋）...A3版4枚	別紙 資料 2	説明	15分
4. その他（今後の予定など）	18	説明	5分

2. 将来経費試算について

説明

2-1. 将来経費試算の条件

将来経費計算の考え方（H26白書試算～H28当初計画試算～R7今回試算）

分類	内容	事後保全中心の維持管理を継続した場合の将来経費（H27白書試算）	マネジメント導入後の将来経費（H28当初計画策定時の試算）	マネジメント導入後の将来経費（今回改定に伴う試算）
維持管理経費	機能を維持するための保守点検、事務等にかかる経費	H25実績を継続と想定 ※直近12年間で最も低いH25実績を採用 ※内容： ①物件費用（事務費）、②清掃、ごみ回収・廃棄費用、③植栽管理費用、④小規模な補修更新費用、⑤施設点検費用、⑥施設運営費用、⑦光熱水及び電信費用、⑧維持・保守費用、⑨パトロール、警備費用、⑩用地等財産購入費用、⑪その他（負担金、賃借料など）	H26白書試算の金額を踏襲 →H25実績額が継続すると想定 ※施設情報の電子化等による効率化に伴い、5%削減	H29～R5の支出実績の平均額が継続すると仮定
補修更新経費	機能を維持するための補修や施設更新にかかる経費	大規模（500万円以上）の工事費 設備更新のための購入・置換え費	<ul style="list-style-type: none"> 予防保全型管理施設：劣化予測により基準水準を下回ったタイミング等で修繕・改築工事費を計上。 事後保全型管理施設：40年間で1度更新または、H25経費を継続 	<ul style="list-style-type: none"> 個別計画（長寿命化修繕計画等）において長期経費試算を実施しているものは、その試算結果を採用。それ以外のは、<u>H28当初計画策定時試算</u>を踏襲。 H29～R5の支出実績が、<u>H28当初計画策定時の試算額</u>に満たないもの（=投資不足）は、<u>不足額をR8以降へ積み増すことを検討（別途説明）</u>

※いずれも人件費は含まず。

下水道事業のみ「下水道経営戦略2026」の将来経費試算額（R8～R17）※を採用。R18以降は、R8～R17の平均額が継続すると仮定。

※維持管理経費：営業費用から人件費・減価償却費等を除いた額。

補修更新経費：建設改良費から人件費を除いた額。

2. 将来経費試算について

説明（前回委員会資料に追記）

2-1. 将来経費試算の条件

将来経費計算の考え方（投資不足額の将来経費への積み増しについて）

本来投資すべきであった費用
（長寿命化などのための経費）

H28当初計画試算

マネジメント導入
後の将来経費
（H29-R5）

補修更新経費

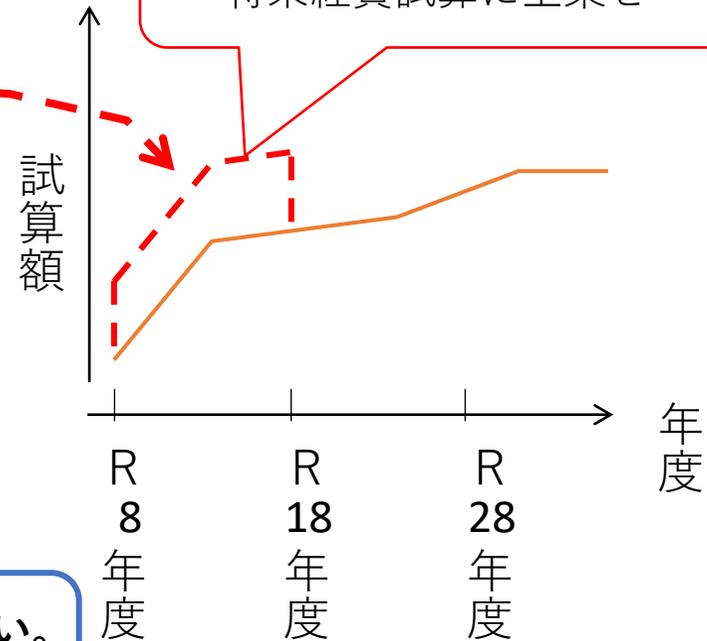
差額

実績支出額
（H29-R5）

補修更新経費

H29-R5の支出見込み（当初試算）と
支出実績との比較整理（補修更新経費）

事後保全対応や災害対応等のための経費は含めない。
→事後保全的対応として維持管理経費に含める。



【補修更新経費の考え方】
※緊急災害対応や当初計画に含まれない整備工事は除く

※H28計画策定時の物価水準に補正のうえ比較

2. 将来経費試算について

マネジメント導入後の将来経費（H28当初計画試算）の考え方（計画P123）※：今回用追記箇所

施設	試算の考え方
道路（舗装）	<ul style="list-style-type: none"> 適切な管理水準（確保すべき舗装の健全度）を定め、その健全度の指標の平均値が一定の値を保つように計画的に補修更新を行うものとして試算。 劣化予測（将来の健全度の予測）の方法には、本市独自のものがなく、本市の状況に近い沿岸地域の劣化予測の考え方に基づき試算。 ※歩道の補修工事はH25実績額を継続。
橋りょう及び橋りょう構造物	<ul style="list-style-type: none"> 予防保全型管理への転換を図り、補修更新を行う健全度を設定して補修更新を行うと仮定し試算。 劣化予測については平成24年度（2012年度）に策定した橋りょう長寿命化修繕計画において決められた劣化予測式を使用し試算。 ※エレベーター・エスカレーターは40年間で1回更新する想定で、1/40した費用を毎年計上。
トンネル及び地下道	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート覆工以外のトンネルは安全に通行できるように本対策工を実施すると仮定。 照明設備はコスト削減を目的に、LED照明に変更すると仮定。 健全度の把握は平成26年度（2014年度）以降の新たな点検基準により実施すると仮定。 健全度は、定期点検を実施するまで把握できないため、健全トンネルと仮定し、監視や応急対策は、トンネル管理経費に現時点では考慮しない。
道路附属施設	<ul style="list-style-type: none"> 台帳情報、点検結果、補修更新等の管理経緯や管理履歴を電子データ化することにより、損傷状態や交換時期の早期把握、保全対象施設の抽出や絞込みの効率化などにより管理経費が縮減されると仮定し試算。
河川	<ul style="list-style-type: none"> 予防保全型管理へ転換するが、現状で健全度が不明であるため、他の施設で予防保全型管理とした場合と同等の効果が見込めるものとして試算。
雨水調整池	<ul style="list-style-type: none"> 施設の劣化予測に基づき、必要となる補修更新経費を試算し、大規模工事については複数年の工事として試算。 劣化予測は、本市独自のものがなく、下水道事業特別会計と同様の手法を使用し試算。
公園等	<ul style="list-style-type: none"> 予防保全型管理への転換を図り、補修更新を行う健全度を設定して補修更新を行うと仮定し試算。 健全度については平成25年度（2013年度）に策定した公園長寿命化計画において決められた健全度の考え方を使用し試算。 <p>※樹木は40年間で全て植え替える費用を計上している。</p>
緑地	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地や道路等に近接する箇所については、防災対策の視点から成長した樹木を計画的に伐採するとして試算。 管理施設については事後保全型管理と予防保全型管理に分離し、予防保全型管理を行なう施設については公園等の補修更新の手法を使用し試算。
下水道	<ul style="list-style-type: none"> 予防保全型管理への転換を図り、補修更新を行う健全度を設定して補修更新を行うと仮定し試算。 健全度の予測は、国土交通省による全国平均の推移確率行列を使用。 持続型下水道幹線の整備と処理区の再編を行うと仮定し、それらの整備コストと縮減される経費を試算。 下水道施設に関する当時の施設整備データが十分ではないため、当初整備で投資した金額により試算をしている。

2. 将来経費試算について

実績額の集計に係る考え方、主な経費

施設	維持修繕経費	補修更新経費
道路 (舗装)	<ul style="list-style-type: none"> 道路舗装の点検・修繕費・設計、ほか経費全般 <u>道路全般を対象とする業務（道路台帳調整、境界画定事務、許認可事務に係る事務経費、特定の施設を対象としない修繕・補修等管理業務）の経費を含む</u> (H28当初計画試算の考え方を踏襲)。 	<ul style="list-style-type: none"> 「道路舗装修繕計画」に基づく工事、その他舗装工事（舗装打換え、オーバーレイ、歩道段差切り下げ） ※新規歩道整備事業（河川上への張出し歩道整備）など、整備工事費は含めず。
橋りょう 及び橋りょう構造物	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょう、横断歩道橋、ペDESTリアンデッキ、エレベーター、エスカレーターの点検・修繕費・設計、ほか経費全般 	<ul style="list-style-type: none"> 「長寿命化修繕計画」に基づく橋りょう、横断歩道橋、ペDESTリアンデッキの修繕などの工事
トンネル 及び地下道	<ul style="list-style-type: none"> トンネル、地下道に係る点検・修繕・設計、ほか経費全般 	<ul style="list-style-type: none"> 「トンネル長寿命化修繕計画」に基づく工事。
道路附属 施設	<ul style="list-style-type: none"> 道路附属施設に係る修繕、街路樹等剪定、街路照明灯電気料金等 	<ul style="list-style-type: none"> 道路附属施設の更新・改修工事等（転落防止柵、法面、など）
河川	<ul style="list-style-type: none"> 河川における維持修繕、浚渫、草刈り等 	<ul style="list-style-type: none"> 護岸改修等（計画未策定のため、過年度事後保全的対応）
雨水調整池（ポンプ 排水式でない）	<ul style="list-style-type: none"> 雨水調整池（ポンプ排水式でないもの）における維持修繕、浚渫、草刈り等 	<ul style="list-style-type: none"> ※補修更新工事の実施が無い場合計上無し。
公園等	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務委託料等 	<ul style="list-style-type: none"> 「公園施設長寿命化計画」に基づく施設修繕・更新、その他施設の改修工事。 ※指定管理業務による遊具修繕（年間約540万円）を含む ※H28当初計画試算で見込んでいた樹木の植替えは実施無し。 ※公園の新規整備・用地取得経費は含めず。
緑地	<ul style="list-style-type: none"> 倒木のおそれのある樹木伐採、倒木処理等の委託料等 	<ul style="list-style-type: none"> 「緑地維持管理計画」に基づく施設改修、その他施設の改修工事
下水道	<ul style="list-style-type: none"> 処理場管理に係る委託料、下水道管路施設の包括的民間委託費用等。 ※企業会計導入以降（R1～）は、営業費用から人件費・減価償却費等を除いた額を計上 	<ul style="list-style-type: none"> 処理場ポンプ場の改修工事等 下水道管路施設の改築・更新 ※企業会計導入以降（R1～）は、建設改良費から人件費を除いた額を計上。

2. 将来経費試算について

2-1. 将来経費試算の条件

現行計画値に対する実績（H29-R5）の状況（維持管理経費）

- 一般会計...現行計画平均値8.8億円に対し、実績は9.7億円であり、実績／計画＝110%
- 企業会計...現行計画平均値15.4億円に対し、実績は17.8億円であり、実績／計画＝116%

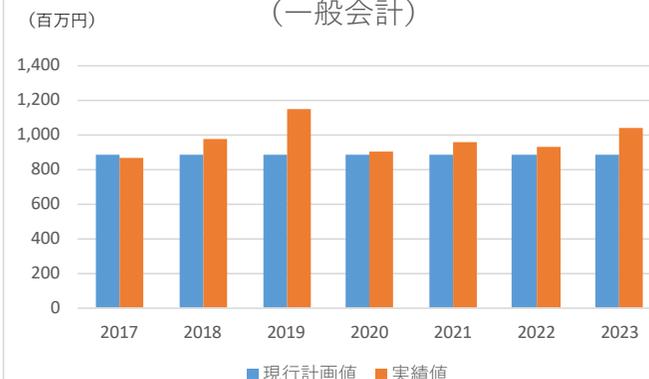
施設名称	パターン	平均値(H29-R5)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	実績/計画(%)
道路(舗装)	現行計画値	249	249	249	249	249	249	249	249	148.1%
	実績値	369	386	385	406	389	332	329	353	
橋りょう及び 橋りょう構造	現行計画値	64	64	64	64	64	64	64	64	62.3%
	実績値	40	36	34	48	45	38	38	39	
トンネル及び 地下道	現行計画値	15	15	15	15	15	15	15	15	78.6%
	実績値	12	0	42	16	14	0	0	11	
道路附属施設	現行計画値	59	59	59	59	59	59	59	59	102.8%
	実績値	60	35	48	44	50	73	94	77	
河川	現行計画値	20	20	20	20	20	20	20	20	163.0%
	実績値	33	14	35	44	17	41	55	26	
雨水調整池	現行計画値	123	123	123	123	123	123	123	123	9.5%
	実績値	12	3	2	2	3	22	21	29	
公園等	現行計画値	300	300	300	300	300	300	300	300	112.6%
	実績値	338	309	334	453	299	319	289	364	
緑地	現行計画値	27	27	27	27	27	27	27	27	275.3%
	実績値	76	35	63	97	50	92	73	118	
管理総務	現行計画値	27	27	27	27	27	27	27	27	129.7%
	実績値	35	47	35	35	33	38	29	25	
一般会計合計	現行計画値	884	884	884	884	884	884	884	884	110.1%
	実績値	974	865	979	1,145	902	954	928	1,042	
下水道事業	現行計画値	1,539	1,539	1,539	1,539	1,539	1,539	1,539	1,539	115.7%
	実績値	1,781	2,466	1,760	1,409	1,437	1,709	1,810	1,877	

単位：100万円

※現行計画値及び実績ともにH27年度の物価指数に換算して整理

※2025年度の物価指数は2015年の1.3倍（土木総合の場合）

維持管理経費における計画と実績の比較
(一般会計)



維持管理経費における計画と実績の比較
(企業会計)



2. 将来経費試算について

説明

2-1. 将来経費試算の条件

現行計画値に対する実績（H29-R5）の状況（維持管理経費）

単位：100万円

施設名称	パターン	平均値(H29-R5)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	実績/計画(%)
道路(舗装)	現行計画値	249	249	249	249	249	249	249	249	148.1%
	実績値	369	386	385	406	389	332	329	353	
橋りょう及び 橋りょう構造	現行計画値	64	64	64	64	64	64	64	64	62.3%
	実績値	40	36	34	48	45	38	38	39	
トンネル及び 地下道	現行計画値	15	15	15	15	15	15	15	15	78.6%
	実績値	12	0	42	16	14	0	0	11	
道路附属施設	現行計画値	59	59	59	59	59	59	59	59	102.8%
	実績値	60	35	48	44	50	73	94	77	
河川	現行計画値	20	20	20	20	20	20	20	20	163.0%
	実績値	33	14	35	44	17	41	55	26	
雨水調整池	現行計画値	123	123	123	123	123	123	123	123	9.5%
	実績値	12	3	2	2	3	22	21	29	
公園等	現行計画値	300	300	300	300	300	300	300	300	112.6%
	実績値	338	309	334	453	299	319	289	364	
緑地	現行計画値	27	27	27	27	27	27	27	27	275.3%
	実績値	76	35	63	97	50	92	73	118	
管理総務	現行計画値	27	27	27	27	27	27	27	27	129.7%
	実績値	35	47	35	35	33	38	29	25	
一般会計合計	現行計画値	884	884	884	884	884	884	884	884	110.1%
	実績値	974	865	979	1,145	902	954	928	1,042	

実績 >> 計画の施設（道路（舗装）、河川、緑地）について

- ・現行計画値は、H13～H25のうち歳出が最低となるH25実績を採用。
→H29～R5の台風等による対応経費が影響（倒木処理、土砂撤去等）。
- ・直営職員減に伴う、委託料の増加の影響も影響したと思われる。
- ・緑地については、樹木伐採等予算が増加傾向にある（H25年度27百万円→R5年度88百万円）

実績 << 計画の施設（雨水調整池）について

- ・現行計画では、年間1億円以上の経費を計上。
※H25当時、下水道施設の施設の一部を見込んでいた可能性があり。

2. 将来経費試算について

説明

2-1. 将来経費試算の条件

現行計画値に対する実績（H29-R5）の状況（補修更新経費）

- 一般会計...現行計画平均値14.0億円に対し、実績は4.3億円であり、実績／計画 = 30%（70%の不足）
- 企業会計...現行計画平均値14.6億円に対し、実績は3.6億円であり、実績／計画 = 25%（75%の不足）

単位：100万円

施設名称	パターン	平均値(H29-R5)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	実績/計画(%)
道路(舗装)	現行計画値	308	175	175	175	175	175	641	641	58.4%
	実績値	180	216	239	296	136	153	85	136	
橋りょう及び 橋りょう構造	現行計画値	34	49	1	72	2	20	84	8	464.3%
	実績値	156	55	86	125	97	96	203	428	
トンネル及び 地下道	現行計画値	35	16	55	62	53	30	14	13	10.2%
	実績値	4	0	22	0	0	0	3	0	
道路附属施設	現行計画値	131	131	131	131	131	131	131	131	20.2%
	実績値	26	0	12	7	0	48	80	39	
河川	現行計画値	16	16	16	16	16	16	16	16	140.3%
	実績値	23	9	18	8	7	10	89	22	
雨水調整池	現行計画値	412	19	837	873	84	474	492	108	0.0%
	実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	
公園等	現行計画値	287	287	284	286	287	293	284	287	11.0%
	実績値	32	5	40	71	5	7	5	88	
緑地	現行計画値	175	165	165	168	168	207	180	172	2.8%
	実績値	5	0	4	9	4	7	4	7	
一般会計合計	現行計画値	1,398	858	1,664	1,783	916	1,345	1,841	1,377	30.4%
	実績値	425	285	421	516	249	320	468	719	
下水道事業	現行計画値	1,461	639	342	380	1,530	1,506	2,768	3,061	24.9%
	実績値	363	392	219	408	636	325	229	334	

※現行計画値及び実績ともにH27年度の物価指数に換算して整理

※2025年度の物価指数は2015年の1.3倍（土木総合の場合）

補修更新経費における計画と実績の比較
(一般会計)



補修更新経費における計画と実績の比較 (企業会計)



2. 将来経費試算について

説明

2-1. 将来経費試算の条件

現行計画値に対する実績（H29-R5）の状況（補修更新経費）

単位：100万円

施設名称	パターン	平均値(H29-R5)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	実績/計画(%)
道路(舗装)	現行計画値	308	175	175	175	175	175	641	641	58.4%
	実績値	180	216	239	296	136	153	85	136	
橋りょう及び 橋りょう構造	現行計画値	34	49	1	72	2	20	84	8	464.3%
	実績値	156	55	86	125	97	96	203	428	
トンネル及び 地下道	現行計画値	35	16	55	62	53	30	14	13	10.2%
	実績値	4	0	22	0	0	0	3	0	
道路附属施設	現行計画値	131	131	131	131	131	131	131	131	20.2%
	実績値	26	0	12	7	0	48	80	39	
河川	現行計画値	16	16	16	16	16	16	16	16	140.3%
	実績値	23	9	18	8	7	10	89	22	
雨水調整池	現行計画値	412	19	837	873	84	474	492	108	0.0%
	実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	
公園等	現行計画値	287	287	284	286	287	293	284	287	11.0%
	実績値	32	5	40	71	5	7	5	88	
緑地	現行計画値	175	165	165	168	168	207	180	172	2.8%
	実績値	5	0	4	9	4	7	4	7	
下水道事業	現行計画値	1,461	639	342	380	1,530	1,506	2,768	3,061	24.9%
	実績値	363	392	219	408	636	325	229	334	

実績 >> 計画の施設について

- ・橋りょう等：H28時点では、ペデストリアンデッキの計画未策定のため想定額を計上→その後、点検実施のうえ長寿命化修繕計画策定（H28想定よりも早期措置段階以上の施設が多かった）。
- ・河川：H28計画ではH25実績を継続して計上→実際に崩落した箇所を事後保全的に予算措置・補修した結果、計画と実績とで乖離が生じたと考えられる。

実績 << 計画の施設について

- ・雨水調整池：H28計画では、劣化予測に基づき平準化した施設更新費用を計上していた。
→その後、定期点検で修繕の必要性を判断し対策を検討する運用としていたが、現状では修繕工事を要する箇所がないため、経費は発生していない。
- ・公園等：H28計画では、樹木の植替えを実施する想定で年間2.8億円を計上していた。
→現状、樹木植替えの方針はないため、実績が計画を大きく下回った。
- ・緑地等：H28計画では、管理施設及び防災施設の整備・更新費用として毎年度1～2億円程度を計上していた。
→その後、施設点検に基づき策定した維持管理計画では、当時の予算規模である毎年度800万円程度の中で、優先順位の高い施設から対策を実施することとしたため、実績額は当初試算を大きく下回る結果となった。
- ・その他：H28計画の試算と、その後策定した個別施設計画における試算手法の違い、及び事業進捗の遅れ等により、9
実績額が当初試算を下回った。

2. 将来経費試算について

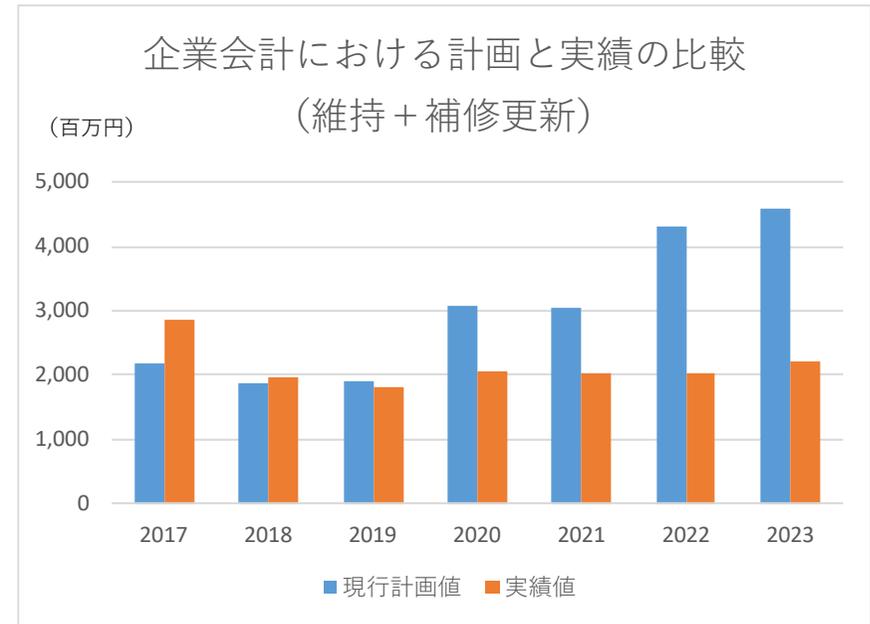
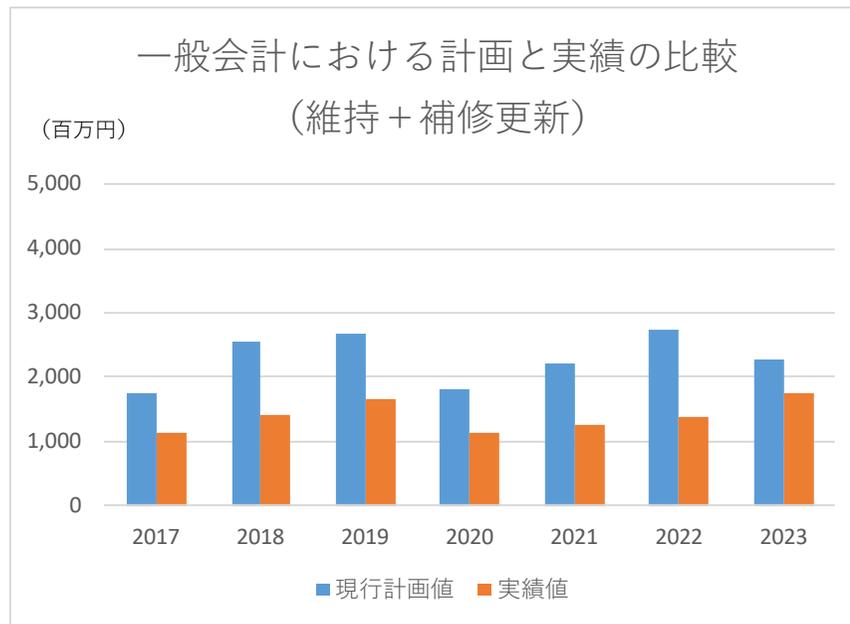
説明

2-1. 将来経費試算の条件

現行計画値に対する実績（H29-R5）の状況

- 一般会計...現行計画平均値22.8億円に対し、実績は14.0億円であり、実績／計画＝61%（39%の不足）
- 企業会計...現行計画平均値30.0億円に対し、実績は21.4億円であり、実績／計画＝72%（28%の不足）

施設名称	パターン	平均値(H29-R5)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	実績/計画(%)
一般会計合計	現行計画値	2,282	1,742	2,548	2,667	1,800	2,229	2,725	2,261	61.3%
	実績値	1,399	1,150	1,399	1,662	1,150	1,274	1,396	1,761	
下水道事業	現行計画値	3,000	2,177	1,881	1,919	3,069	3,045	4,307	4,600	71.5%
	実績値	2,144	2,858	1,980	1,817	2,073	2,033	2,039	2,211	



※現行計画値及び実績ともにH27年度の物価指数に換算して整理

※2025年度の物価指数は2015年の1.3倍（土木総合の場合）

2. 将来経費試算について

審議

2-1. 将来経費試算の条件

試算条件設定（H29～R5投資不足額の将来経費への積み増し等）に際して考慮すべき条件

•個別計画（長期経費試算）の有無、点検結果／健全度判定、修繕時期の設定方法などを踏まえて検討

• 直近の個別計画（長期経費試算）の実施有無

...個別計画（長期経費試算）がある施設については、長期試算結果を採用

→直近で長期試算を実施している場合、H29～R5の投資不足は織込み済み（**将来積増し不要**）。

※該当施設：トンネル及び地下道

• 点検結果／健全度判定の有無

...点検結果／健全度判定により、対策実施を判断する施設については、各要領等に基づき対策を実施を判断している（例：健全性Ⅲ（早期措置段階）→次回点検までに修繕）

→投資不足（≡早期措置等に遅れ）がある場合、早急に挽回する必要がある（**将来積増し要**）

※該当施設：道路（舗装）、公園等、緑地

• 現行計画における計算方法

...現行計画において、直近の実績額が将来も継続すると仮定して試算しているもの

→直近の実績額（H29～R5の平均）に置き換え。

※該当施設：道路附属施設、河川

...現行計画における経費計算方法が実態と乖離しているもの

→投資不足があっても、将来積増ししない（まずは個別計画を策定）

※該当施設：雨水調整池

2. 将来経費試算について

審議

2-1. 将来経費試算の条件

No.	施設名	管理類型	個別計画に係る整理			本改訂における 補修更新経費 試算元	左記試算元における整理		投資額実績 (対 計画値) (H29~R5)	今回改定における 補修更新経費の 試算の方針	(計画値未満のものに ついて)不足額の将来 経費への積増し
			個別施設 計画有無	定期点検/健全 度判定の実 施	長期経費 試算有無		修繕(更新)時期の 設定方法	劣化予測による 更新等判断基準 (管理水準)			
1	道路(舗装)	予防保全	あり	あり	なし	現行マネジメント 計画試算結果	劣化予測を行い 右記水準で 修繕(更新)	幹線市道:MCI3.0 その他:MCI平均5.0	計画値未満	現行マネジメント計画 試算結果を採用	積み増し必要、 将来5年※で均等配分
2	橋りょう及び 橋りょう構造物	予防保全	あり	あり	あり	個別計画 長期試算結果	劣化予測を行い 右記水準で 修繕(更新)	健全性Ⅱ (予防保全段階)	計画値以上	個別計画 長期試算結果を採用	-
3	トンネル及び地下道	予防保全	あり	あり	あり	個別計画 長期試算結果	劣化予測を行い 右記水準で 修繕(更新)	健全性Ⅱ (予防保全段階)	計画値未満	個別計画 長期試算結果を採用	不要 (個別計画は近年改訂 済みのため)
4	道路附属施設	事後保全	なし	一部あり (計画外)	-	現行マネジメント 計画試算結果	耐用年数で更新 (一部施設はH25の 経費が継続と仮定)	-	計画値未満	現行マネジメント計画 試算方法を踏襲し 直近平均額に置き換え	不要 (事後保全のため)
5	河川	予防保全	なし	-	-	現行マネジメント 計画試算結果	設定なし (H25の経費が継続 と仮定)	-	計画値以上	現行マネジメント計画 試算方法を踏襲し 直近平均額に置き換え	-
6	雨水調整池	予防保全	なし	一部あり (計画外)	-	現行マネジメント 計画試算結果	劣化予測を行い 右記水準で 修繕(更新)	健全度2 (直ぐに長寿命化・更新が 必要な状態)	計画値未満	現行マネジメント計画 試算結果を採用	不要 (まずは個別計画策定)
7	公園等	予防保全	あり	あり	なし	現行マネジメント 計画試算結果	劣化予測を行い 右記水準で改修し、 使用見込み期間で更 新	健全度C (全体的に劣化が進行※ 重大事故には繋がらない 程度)	計画値未満	現行マネジメント計画 試算結果を採用	積み増し必要、 将来5年※で均等配分
8	緑地	予防保全	あり	あり	なし	現行マネジメント 計画試算結果	更新費用を平準化 (詳細な延命の考え 方は不明)	-	計画値未満	現行マネジメント計画 試算結果を採用	積み増し必要、 将来5年※で均等配分
9	下水道事業	予防保全	あり	あり	なし (10年試 算あり)	経営戦略 2026 10年試算結果	劣化予測を行い 右記水準で 修繕(更新)	管きよ:緊急度Ⅰ・Ⅱ (要措置) 施設:健全度2 (要更新・交換等)	計画値以上	経営戦略2026 10年試算結果の建設改良 費の平均額に置き換え	不要
10	漁港	予防保全	あり	あり	あり	個別計画 長期試算結果	劣化予測を行い 右記水準で 修繕(更新)	健全度B(予防保全対策が 必要な状態)	-	個別計画 長期試算結果を採用	-
11	クリーンセンター (笹田リサイクル センター)	事後保全型管理・ 予防保全型 管理	あり	あり	あり	個別計画 長期試算結果	不明:延命化時期 (施設更新は耐用年 数)	-	-	個別計画 長期試算結果を採用	-

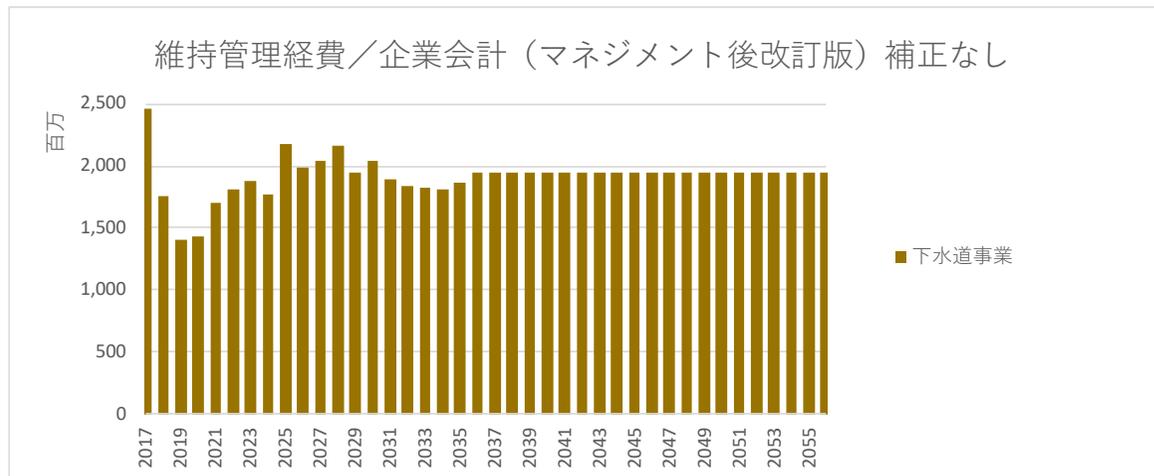
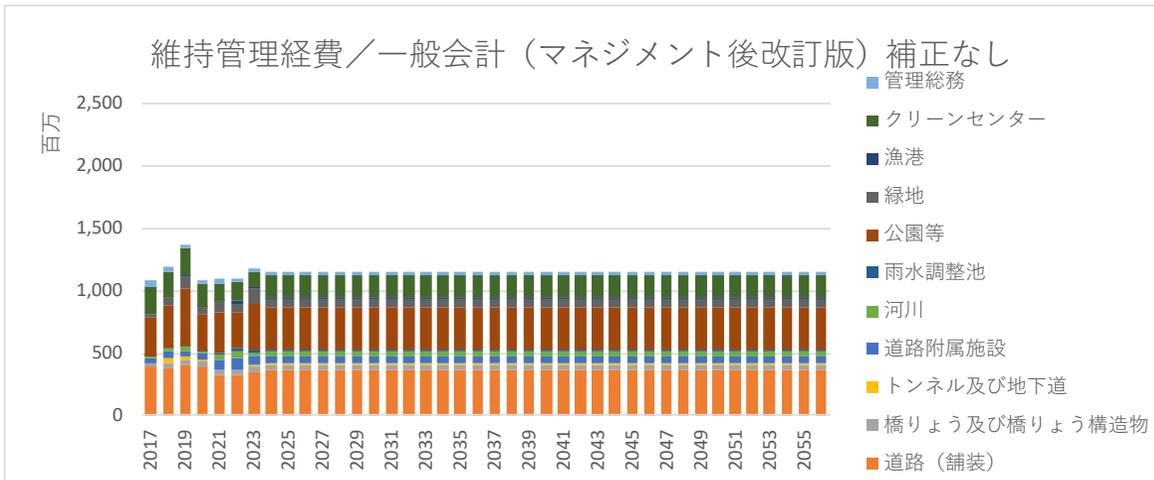
2. 将来経費試算について

説明

2-2. 将来経費試算結果

将来経費試算結果（維持管理経費）

- 一般会計...直近の実績の平均額である約12億円／年を確保
- 企業会計...経営戦略の試算額を踏まえ、約18億円／年を確保



※現行計画値及び実績ともにH27年度の物価指数に換算して整理
※2025年度の物価指数は2015年の1.3倍（土木総合の場合）

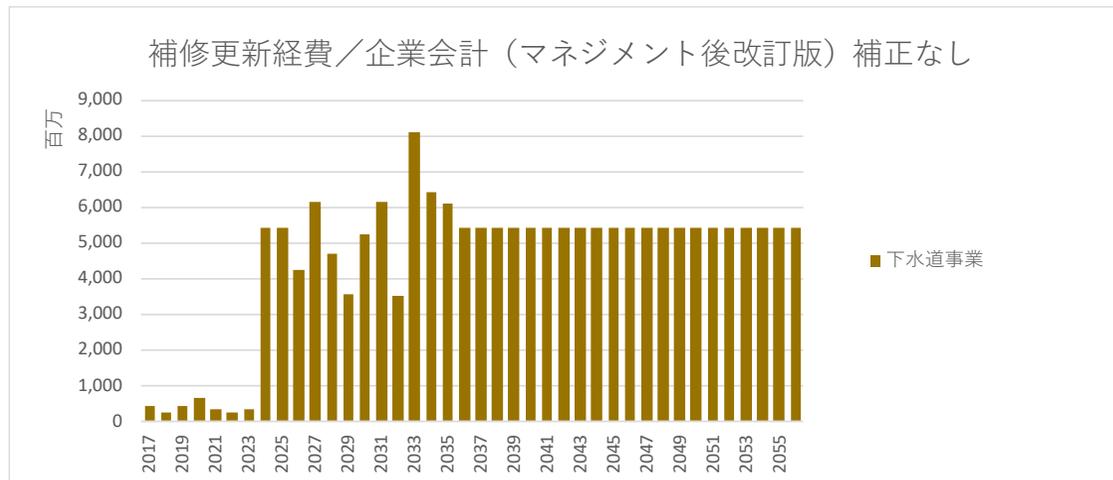
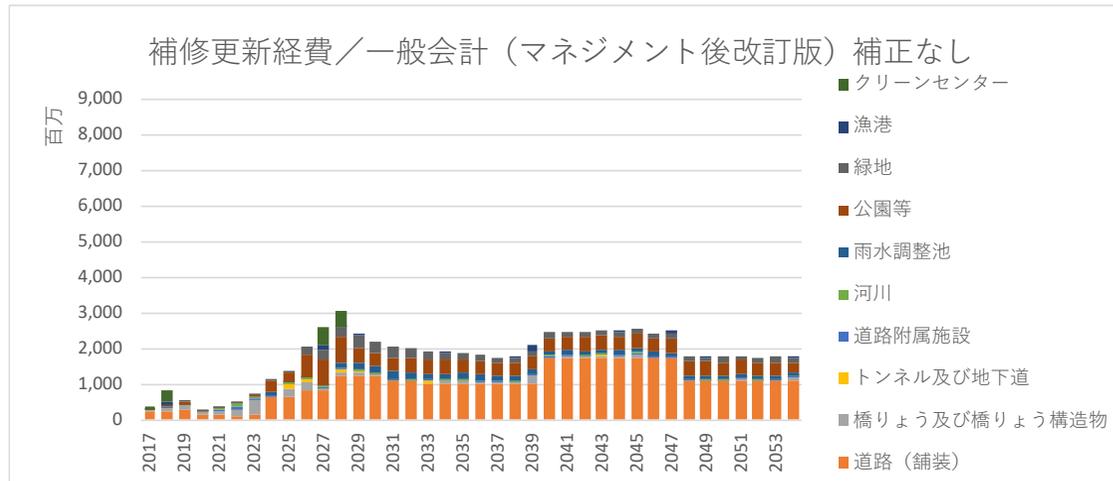
2. 将来経費試算について

説明

2-2. 将来経費試算結果

将来経費試算結果（補修更新経費）

- 一般会計...2026年以降は年間22億円／年必要、これはH29-R5（7年間）の実績約7億円／年の3倍に相当
- 企業会計...2026年以降は年間84億円／年必要、これはH29-R5（7年間）の実績約7億円／年の12倍に相当



※現行計画値及び実績ともにH27年度の物価指数に換算して整理
※2025年度の物価指数は2015年の1.3倍（土木総合の場合）

2. 将来経費試算について

説明

2-2. 将来経費試算結果

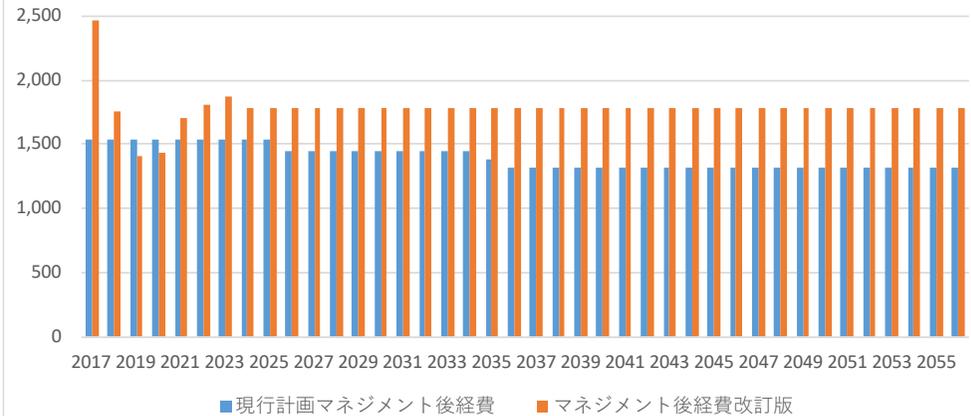
将来経費試算結果（維持管理経費）（現行計画との比較）

- 一般会計...現行計画より更に平均約1億円／年を確保する必要あり（13%増）
- 企業会計...現行計画より更に平均約4億円／年を確保する必要あり（31%増）

維持管理経費における現行計画と今回試算結果との比較
(一般会計)



維持管理経費における現行計画と今回試算結果との比較
(企業会計)



※現行計画値及び実績ともにH27年度の物価指数に換算して整理
※2025年度の物価指数は2015年の1.3倍（土木総合の場合）

2. 将来経費試算について

説明

2-2. 将来経費試算結果

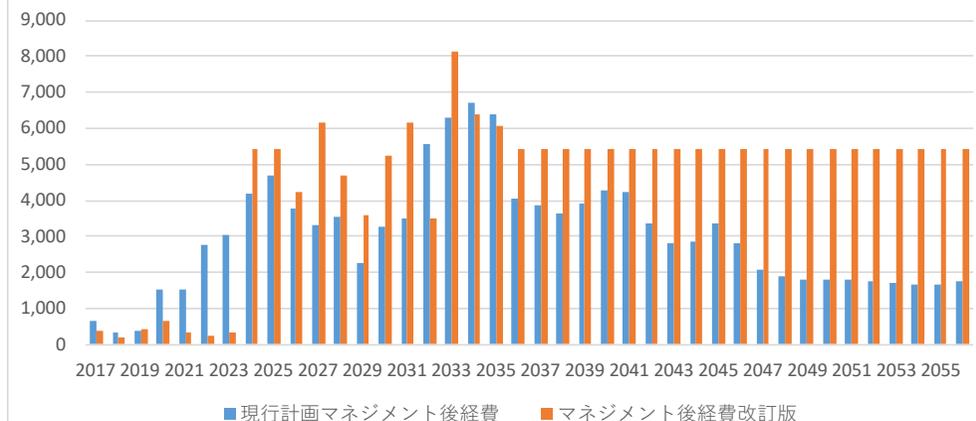
将来経費試算結果（補修更新経費）（現行計画との比較）

- 一般会計...現行計画とほぼ同等額（約650億円／年）を確保する必要あり（2%減）
- 企業会計...現行計画より更に平均約21億円／年を確保する必要あり（65%増）

補修更新経費における現行計画と今回試算結果との比較
(百万円)
(一般会計)



補修更新経費における現行計画と今回試算結果との比較
(百万円)
(企業会計)



※現行計画値及び実績ともにH27年度の物価指数に換算して整理
※2025年度の物価指数は2015年の1.3倍（土木総合の場合）

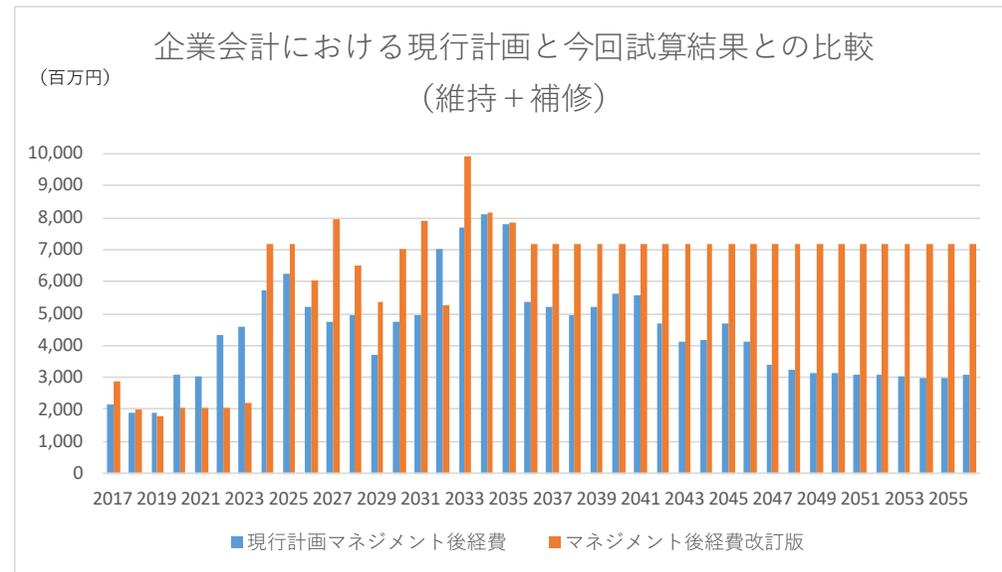
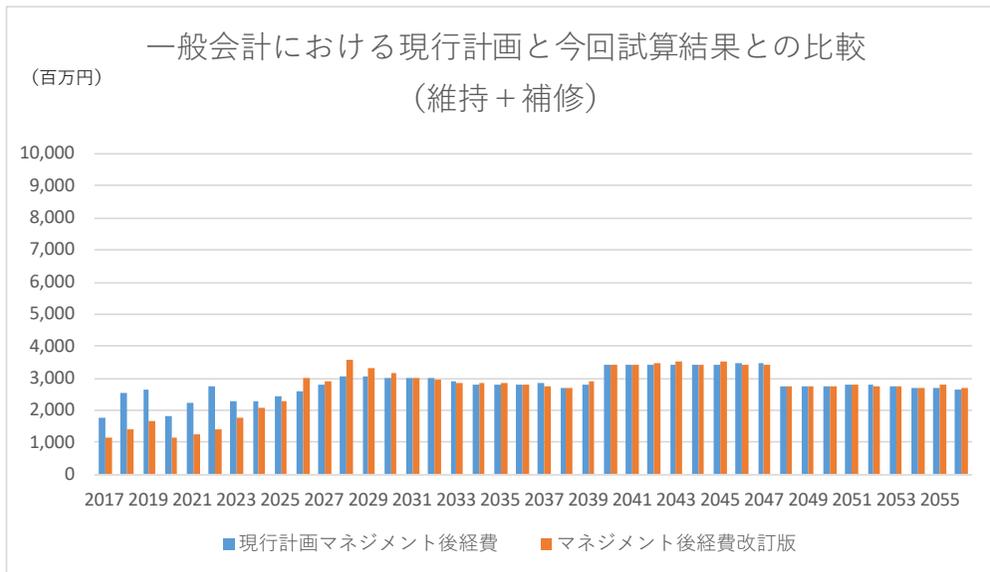
2. 将来経費試算について

説明

2-2. 将来経費試算結果

将来経費試算結果（現行計画との比較）

- 一般会計...現行計画とほぼ同等額（平均約51億円／年）を確保する必要あり（2%増）
- 企業会計...現行計画より更に平均約26億円／年を確保する必要あり（55%増）



※現行計画値及び実績ともにH27年度の物価指数に換算して整理
※2025年度の物価指数は2015年の1.3倍（土木総合の場合）

4. その他

説明

4-1. 今後の予定

今後の進め方に関するポイント

①次回（令和7年度第4回）では計画素案の確定

■ 令和7年度第1回（基本施策審議） 2025/7/28

- ・ PDCA評価結果
- ・ 将来経費試算
- ・ 計画記載事項（基本施策）の案

■ 令和7年度第2回 2025/10/14

- ・ 計画改定に関する整理

■ 令和7年度第3回（計画素案審議） 2025/11/11

- ・ 施設別施策の確定
- ・ 計画書の内容報告（本編・資料編）

次回

■ 令和7年度第4回（計画素案審議） 2026/1/9
（パブコメ1月実施予定）

- ・ 施設別施策の確定
- ・ 計画書の内容報告（本編・資料編）

■ 令和7年度第5回（最終報告） 2026/3/23

- ・ パブコメ結果の報告
- ・ 上記を踏まえた計画書最終版

令和6年度は主に課題抽出のための前提条件整理としてアンケート実施

第3・4・5・6回
外部委員会審議予定

